



動物たちがくらしやすい環境を心がけています 飼育員



動物の行動は種類によって違うため、飼育方法も様々です。たとえば象はとても頭が良い動物です。そのため人間の行動を良く観察しており、飼育員の関わり方で関係性が変わってきます。動物が好きなだけではむずかしい仕事ですが、動物ごとのルールを学び、くらしやすい環境を整え、気持ちや体調の変化に気がつけるように日々関わっています。動物たちから認めてもらえる飼育員になれるようにがんばっています。



Check!

このお仕事についたきっかけ

子供のころから動物が好きで、動物に関わる仕事をしたいと思っていました。高校を卒業してからアフリカンサファリに就職しました。今は象の担当として毎日健康管理やお世話をしています。

飼育員ってどんなお仕事をしているの?



● 清掃



体の大きな象は、体育館くらいの広い部屋で生活しています。また、一日に排出する糞の量は約350Kg(軽トラックの荷台分)なので、きれいに片付けます。

● 様子を観察



動物の顔色や糞の状態を見て、日々の様子を観察しています。少しでもいつもとちがう様子を発見した場合は獣医師に報告をし診察や治療してもらいます。

Check!

こんな人たちと働いています!

■ 造形物製造スタッフ ■ 受付 ■ 事務員

● 餌やり



象は約100Kgの餌を食べます。象ごとの体調によってメニューは違い、牧草を中心に野菜やサトウキビ、ビタミンやミネラルを多く含むものを与えます。

● 観察記録などの事務作業



毎日の観察記録や頭数の調査など、アフリカンサファリでは事務作業もたくさんあります。動物たちの健康を守るために欠かせない仕事です。

この会社に教えてもらったよ!

24 飼育員

自然に近い環境でくらす野生動物たちの生態を伝えます

九州アフリカ・ライオン・サファリ株式会社

宇佐市安心院町南畑2-1755-1 ☎0978-48-2331

創業/1976年5月 従業員数/111名



九州アフリカ・ライオン・サファリ株式会社はこんな仕事をしています



● 治療

病気やケガをしてしまった動物の治療をします。様々な種類の動物がいるので、それぞれに合った治療法を研究しながら、最適な方法で治療します。



● ジャングルバスの運転

ライオンやキリンなどに餌をあげながら移動する迫力満点の[ジャングルバス]。お客様の安全を守りながら、動物の素晴らしさを伝えていきます。



● 造形物の製造

ジャングルバスや、園内にある造形物はすべてアフリカンサファリの専門スタッフの手作り。お客様に楽しんでもらえる環境づくりをしています。



● 総合案内

園内の案内、ジャングルバスの時間案内や乗車券の販売、年間パスポートの販売、ベビーカーや車椅子の貸し出し手配などを行っています。



地元の農家さんと協力して動物のエサを栽培しています



杵築・日出の農家さんの協力で、使っていない畑を利用して、象の餌になる[さとうきび]の栽培を5年前からはじめました。人間と同じように、動物も新鮮な食べ物が大好きだからです。地域の皆さんと連携しながら、「動物が喜ぶこと」に取り組んでいます。

